

管機連 Daily News

2021年11月26日(金)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「第6波」協力金に1.5兆円 地方臨時交付金を大幅増額

・政府が2021年度補正予算案に計上する6.8兆円の地方創生臨時交付金の概要が25日、明らかになった。新型コロナウイルス感染拡大「第6波」に備えた飲食店への協力金向けに1.5兆円を手当てするほか、自治体が用途を決める配分枠に1.2兆円を充てる。臨時交付金はコロナ対策にかかる費用を国が地方に配る。

◆個人消費「持ち直しの動き」に判断上げ、11月の月例報告

・政府は25日まとめた11月の月例経済報告で、個人消費の基調判断を「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」に引き上げた。上方修正は1年1カ月ぶり。緊急事態宣言の解除で旅行や外食を含む消費の回復を反映した。輸出や生産などの悪化を踏まえ、景気の総括判断は「持ち直しの動きに弱さがみられる」と維持した。

◆10月米消費支出物価5%上昇、31年ぶり高水準

・米商務省が24日発表した10月の個人消費支出(PCE)物価指数は変動の激しい食品とエネルギーを除くコア指数が前年同月比4.1%上昇し、1991年1月以来、約30年ぶりの高水準となった。原油価格の上昇も響き、食品・エネルギーを含む総合指数の上昇率は5.0%と90年11月以来、約31年ぶりに5%台に達した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆CO2削減1トンで7700円補助 中小企業の省エネ投資支援

・環境省は中小企業が温暖化ガス排出量が少ない機器を新規導入した際、削減量に応じて補助金を増額する事業を始める。エネルギー効率の高い空調機やヒートポンプ給湯器、自然冷媒を使った冷凍庫などの省エネ設備を想定し、二酸化炭素(CO2)換算で年間1トン削減ごとに最大7700円を補助する。

◆白物家電出荷額10月13%減 巣ごもり反動続く

・日本電機工業会(JEMA)が25日発表した2021年10月の白物家電の国内出荷額は、前年同月比13%減の1573億円。出荷額の減少は5カ月連続で、販売が伸びた20年から反動減が続く。21年度下期の動向について「(空気清浄機など)健康や清潔関連家電の需要は継続する」とした。ルームエアコンは8%減の300億円、冷蔵庫は24%減の266億円といずれも減少。

◆床用鋼板、前年比4割高 材料不足で品薄感

・鉄骨造(S造)の床材などに使う床用鋼板の取引価格が一段と上昇している。東京地区の間屋仲間価格は前年と比べて4割高い。材料に使う薄鋼板の価格上昇を受けたメーカー値上げが浸透した。床用鋼板は中小物件向けの需要が伸び悩むものの、鉄鋼メーカーの材料の供給余力は乏しく、市中では品薄感が強まっている。

《 注目商品 》

■リンナイ、まな板と食器をまとめて洗える食洗機

・12月15日、食器カゴを使いやすくした標準スライドオープンタイプの食器洗い乾燥機「RKW-405シリーズ」4機種を発売。食器カゴの見直しにより、最大200×400×15mmのまな板をサイドに立てて入れ、まな板と食器のまとめ洗いができるように。乾燥工程を省略した「洗浄のみコース」を搭載。



■シャープ、空気浄化力を向上させた「プラズマクラスター加湿空気清浄機」

・史上最高イオン濃度の「プラズマクラスターNEXT」に加え、ウイルス飛沫粒子を効果的に捕集する新たな気流制御を搭載したプラズマクラスター加湿空気清浄機<KI-PXシリーズ>3機種を発売。付着二オイ原因菌の除菌やウイルスの作用抑制などより高い効果を発揮。「飛沫粒子モード」搭載。



■パナソニック、LED電球とLED照明器具で新ブランド「パルックLED」

・蛍光灯・電球型蛍光灯ブランド「パルック」のネーミングを踏襲し、市販のLED電球とLED照明器具を新ブランド「パルックLED」として展開。「パルックLED」立ち上げにより、LED化をより強い思いで推進し、ご家庭で身近にできる環境配慮への取り組みを進める。

